

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-161982(P2006-161982A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-355602(P2004-355602)

【国際特許分類】

F 16 L 9/12 (2006.01)

B 32 B 1/08 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

【F I】

F 16 L	9/12	
B 32 B	1/08	Z
B 32 B	27/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

建築物の床、壁、間仕切り等の仕切り部に設けられた貫通孔に貫通される耐火多層管であって、合成樹脂管と、無機充填材を含有する防音性の樹脂組成物からなる層および熱膨張性黒鉛を含有する樹脂組成物からなる層が合成樹脂管の外周に設けられ、無機充填材の配合量は樹脂100重量部に対し50~500重量部であることを特徴とする耐火多層管。

【請求項2】

無機充填材の真比重が3.0以上であることを特徴とする請求項1に記載の耐火多層管。

【請求項3】

合成樹脂と、この合成樹脂管の外周に熱膨張性黒鉛を含有する樹脂組成物からなる層と無機充填材を含有する樹脂組成物からなる材料からなる層を、共押出することにより多層管形状を形成することを特徴とする請求項1又は2に記載の耐火多層管の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明者は前記課題を解決するため鋭意検討を重ねた結果、防音性を有する熱膨張性耐火材料からなる層を備えた合成樹脂管が本発明の目的に適うことを見出し、本発明を完成するに至った。

すなわち本発明は、

[1] 建築物の床、壁、間仕切り等の仕切り部に設けられた貫通孔に貫通される耐火多層管であって、合成樹脂管と、無機充填材を含有する防音性の樹脂組成物からなる層および熱膨張性黒鉛を含有する樹脂組成物からなる層が合成樹脂管の外周に設けられ、無機充填

材の配合量は樹脂 100 重量部に対し 50 ~ 500 重量部であることを特徴とする耐火多層管を提供するものであり、

[2] 無機充填材の真比重が 3.0 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の耐火多層管を提供するものであり、

[3] 合成樹脂と、この合成樹脂管の外周に熱膨張性黒鉛からなる層と無機充填材を含有する樹脂組成物からなる材料からなる層を、共押出することにより多層管形状を形成することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の耐火多層管の製造方法を提供するものである。